

## 第 5 期鹿児島市地域福祉計画に関連する市の事業等 &lt;令和 5 年度の主な新規・拡充事業等&gt;

## ○主な特徴等

- ・新規 8 事業、拡充 14 事業（計 22 事業）
- ・全ての「基本目標」、「取組の方向」において、新規事業又は拡充事業があり、ソフト支援及びハード整備のさらなる充実を図る。
- ・特に子ども・子育て世帯向けの施策、障害者向けの施策の充実が図られる予定

主な事業については割愛  
(資料 1-2 と同様)

## ◆基本目標Ⅰ 地域住民が主役の福祉活動の推進

## 取組の方向 1 多様な主体が参画する福祉活動の推進

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業〔予算額：4,066 千円・**拡充**〕P2  
精神障害者ピアサポーターを養成し、長期入院精神障害者の地域移行の推進、精神障害についての正しい知識の普及啓発を図る。

## 取組の方向 2 支え合いの心を育むボランティア活動の推進

- ・チームオレンジ設置運営支援事業〔予算額：6,164 千円・**新規**〕P5  
認知症の方やその家族が、認知症サポーター等が一体となって、地域における交流や見守り支援等を行う「チームオレンジ」の認定と運営支援を行う。

## 取組の方向 3 住民同士が出会い・つながるプラットフォームづくり

- ・地域福祉館 W i - F i 設置事業〔予算額：7,380 千円・**新規**〕P8  
地域福祉館（41 館）に W i - F i を設置し、利便性の向上や地域住民同士の交流の促進、福祉活動の積極的な情報発信を図るとともに、避難所機能の充実を図る。

## 取組の方向 4 みんなで支え合う安心安全な地域づくり

- ・社会福祉施設避難確保計画運用支援事業〔予算額：10,739 千円・**新規**〕P10  
災害時において、洪水浸水想定区域等に立地する高齢者福祉施設や障害者福祉施設等の利用者が迅速に避難できるよう、施設等が作成する避難確保計画の運用支援を行う。

## ◆基本目標Ⅱ 相談しやすい体制づくりと福祉サービスの充実

## 取組の方向 1 誰もが相談しやすい包括的な支援体制の推進

- ・重層的支援体制整備移行準備事業〔予算額：8,964 千円・**新規**〕P12  
複雑化・複合化した支援ニーズに、関係機関や地域が連携して対応する重層的支援体制の整備に取り組む。
- ・地域包括支援センターにおける相談支援〔予算額：683,895 千円・**拡充**〕P13  
地域の高齢者やその家族の様々な相談に応じる（地域包括支援センター職員を 2 名増員）とともに、関係機関とのネットワークを構築し、必要な支援に結びつける。また、様々な機会を捉えて高齢者の実態や課題の把握に努める。

## 取組の方向 2 多様な福祉サービスの充実と利用促進

- ・障害福祉サービス給付事業〔予算額：18,718,997 千円・**拡充**〕P18  
日常生活を営むのに支障がある障害者（児）等の家庭にホームヘルパーを派遣して、介護・家事等、日常生活の世話及び外出の支援を行う。
- ・障害児通所等支援事業〔予算額：11,271,434 千円・**拡充**〕P18  
在宅の障害児に対する療育として、児童発達支援や放課後等デイサービス等を提供し、日常生活における基本的な動作の指導、生活能力の向上のために必要な訓練等を行う。
- ・日常生活用具給付事業〔予算額：138,020 千円・**拡充**〕P18  
在宅の重度障害者に日常生活用具を給付（収尿器の対象者の拡充等）する。
- ・成年後見制度利用促進事業〔予算額：31,568 千円・**拡充**〕P19  
適切な成年後見制度の利用につなげるため、成年後見センターを運営する。
- ・地域子育て支援センター事業〔予算額：78,702 千円・**拡充**〕P20  
センターを 9 箇所拡充し、地域の子育て家庭に対する子育て支援を行う。

- ・放課後児童健全育成事業〔予算額：1,454,216 千円・**拡充**〕P20  
児童クラブを 2 箇所増設し、放課後の適切な遊びと生活の場を提供する。
- ・こどもの未来応援条例推進事業〔予算額：3,745 千円・**拡充**〕P21  
こどもの未来応援条例の周知・啓発に取り組む。

## 取組の方向 3 孤立させない相談・支援体制づくり

- ・フレンドシップ（適応指導教室）支援事業〔予算額：56,484 千円・**拡充**〕P32  
不登校児童生徒等の居場所づくりや相談等を行うとともに、フレンドシップや学校への心のパートナーの派遣回数を増やす。

## ◆基本目標Ⅲ お互いを尊重し合う誰もが暮らしやすい地域づくり

## 取組の方向 1 人権の尊重と差別・虐待・暴力の防止

- ・多文化共生推進事業〔予算額：6,345 千円・**拡充**〕P32  
国籍や民族などの異なる人々が互いに文化的ちがいを認め合い、ともに生きていく多文化共生の地域づくりを推進するため、新たに啓発活動や外国人向けの生活情報ポータルアプリの運用を行う。
- ・手話言語及び情報・コミュニケーション条例（仮称）制定事業〔予算額：645 千円・**拡充**〕P33  
障害者への理解促進の気運を醸成し、障害者の生活課題等の解消と、意思疎通支援の充実による共生社会の実現につなげるため、手話言語等に係る条例の制定に取り組む。
- ・子育て世帯訪問支援事業〔予算額：3,054 千円・**新規**〕P34  
家事・育児等に対して不安・負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を子育て訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを聞くとともに、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等を未然に防ぐ。
- ・子ども家庭支援ネットワーク構築事業〔予算額：465 千円・**新規**〕P34  
「子ども家庭センター」の設置にあたり、関係機関で構成する「鹿児島市子ども家庭支援ネットワーク会議」を設置し、同センター設置についての意見を聴取する。
- ・こどもの日贈り物事業〔予算額：3,250 千円・**新規**〕P34  
イベント参加やスポーツ観戦など、様々な経験の機会の提供に取り組む児童養護施設等に対し助成を行い、施設で生活する子どもが夢や希望を抱ききっかけづくりを行う。
- ・ヤングケアラー支援事業〔予算額：3,421 千円・**新規**〕P34  
ヤングケアラーに対する支援体制の充実を図るため、ヤングケアラー相談支援員を配置するとともに、周知広報を図る。

## 取組の方向 2 誰もが暮らしやすい生活環境の整備

- ・町内会集会所建築等補助事業〔予算額：31,298 千円・**拡充**〕P35  
バリアフリー化支援事業と統合し、町内会等のコミュニティ活動の拠点となる集会所の新築、取得、リフォーム、バリアフリー化及び耐震改修に要する経費を助成する。
- ・公共交通不便地対策事業〔予算額：210,315 千円・**拡充**〕P36  
公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するため、あいばすや乗合タクシー等について、改善を図りながら運行するとともに、新たにあいばすの利用促進に向けた周知広報等に取り組む。